

Office for Gender Equality, Yamagata University

NEWS Letter



山形大学男女共同参画基本計画達成に向けて ～平成25年度中に女性教員比率を15%に～

5月9日(木)

平成25年1月に、3年間の女性研究者研究活動支援事業について文部科学省の事後評価が発表されました。所期の計画と同等の取組が行われているということで、総合評価Aという結果となりました。男女共同参画の全学的な推進、ニーズを踏まえた支援の実現、県内各高等教育機関との連携、女性教員比率の低い部局での独自の目標設定等が評価されました。各部局における積極的な取組や意識改革の努力に改めて感謝申し上げます。

これまでの取組により、山形大学の男女共同参画や女性研究者支援の環境が整ってきたことを強く感じております。しかし、女性教員比率について言えば、本学は国立大学の中でも非常に低い位置(86国立大学中61位)にあります。上記支援事業の事後評価においても具体性のある女性教員増加策の必要性が指摘されました。「山形大学男女参画推進基本計画」によれば、「平成25年度までに、女性教員比率を15%までに引き上げる」とされています。今年5月1日現在の女性教員比率は12.6%となっており、これを15%に高めるためには、全学で女性教員数が21名以上増加する必要があります。5月に開催しました第10回男女共同参画推進委員会において各部局の今年度の計画について審議しましたが、各部局におかれましては、必要な場合には計画の見直しを含め、年次計画を確実に実施される等、上記目標の達成に向けて更なる御協力を御願ひ致します。

男女共同参画推進室長 北野 通世

第10回男女共同参画推進委員会を開催

●協議事項

- 平成25年度事業計画
- 男女共同参画基本計画に関する平成24年度評価及び次期計画
- 小白川キャンパス保育所設置計画
- くるみんマーク取得対策
- 平成25年度「女性研究者研究活動支援事業」

●報告事項

- 平成25年度男女共同参画推進委員会委員及び男女共同参画推進室員
- 平成25年度の各種支援制度
- 平成25年度各学部等による企画
- 平成25年度基盤教育教養セミナー「ウーマン・オブ・ヤマガタ」講師一覧

子の看護のための特別休暇が取得しやすくなりました

～これまで1日単位でしたが、1時間単位でも取得できます～

- 取得できる場合：小学校就学の始期に達するまでの子(配偶者の子を含む)を養育する職員が、その子の看護(負傷し、若しくは疾病にかかったその子の世話又は法令等に定める予防接種や健康診断を受けさせるための付き添いを行うことをいう。)のため勤務しないことが相当であると認められる場合
- 取得できる期間：1年(定時・短時間勤務職員は1年度)に5日(子が2人以上の場合は10日)の範囲内1日又は1時間単位で取得
- 対象者：常勤職員…有給の特別休暇/定時・短時間勤務職員(一定の要件あり)…有給の休暇



平成25年度中に「次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画」の達成を目指します

事業主は、従業員の子育て支援のための行動計画を策定・実施し、その結果が一定の要件を満たす場合に、厚生労働大臣の認定(くるみんマーク取得)を受けることができます。

山形大学の行動計画 【期間：平成23年4月1日～平成26年3月31日】



くるみんマーク取得を目指します。

目標1	計画期間内に、育児休業の取得状況を次の水準以上にする。 ●男性職員：1人以上の職員が取得すること ●女性職員：取得率を80%以上とすること(平成23年度79.2%、24年度88.2%)
目標2 【達成】	子の看護のための特別休暇が取得しやすい環境とするため、必要に応じて1日又は1時間単位で取得できるよう制度を整備充実するとともに広報にも務める。
目標3	年間の新規付与分の年次有給休暇の取得率が本学全体で平均して50%以上とする。(平成23・24年度37.5%)

平成25年度の推進体制 平成25年4月1日現在

男女共同参画推進委員会	学長	結城章夫	理学部	大西彰正	農学部	夏賀元康
	理事・副学長	北野通世		井深章子		渡辺理絵
	理事・副学長付きスタッフ	高木直	医学部	細谷たき子	基盤教育院	加納寛子
	人文学部	立松潔		鈴木匡子	総務部長	黒沼毅
		地域教育文化学部	赤倉泉	工学部	神戸士郎	企画部長
	伊藤清郎		八塚京子		保健管理センター所長	富樫整
河野銀子						

男女共同参画推進室員	室長	北野通世	渉外部 准教授	山本有香	総務部 労務課長	細谷美千枝
	理事・副学長付きスタッフ	高木直	総務部長	黒沼毅	総務部 労務課 上席係長	柴田俊秀
	チーフ・コーディネーター	木村松子	総務部 人事課長	阿部敏樹	男女共同参画推進室 専門職員	小泉睦巳

男女共同参画推進室スタッフ	チーフ・コーディネーター	木村松子	事務補佐員	石澤多貴子
	専門職員	小泉睦巳	相談員	會田幸子

平成25年度の各種支援制度(実施中)

1. 学会出張時の保育支援制度(対象:子育て期の女性研究者)

- 目的: 子育て期の女性研究者の学会出張を促すため、託児やベビーシッター経費の一部を支援する。
- 内容: 小学6年生までの子どもをもつ女性研究者(医員を含む教職員、博士後期課程大学院学生、医学専攻の博士課程大学院学生、ポストドクター)が学会に参加する際に託児やシッターを利用した場合、1人1回1万円を上限として支援する。
- 申請: 申請書と母子手帳のコピーを提出する。
- 請求: 私金立替払請求書、領収書、参加した学会の名称と日時がわかる資料のコピー、口座振替依頼書(学生のみ)を提出する。

2. 託児サポーター制度(対象:全教職員・学生)

- 目的: 仕事と育児の両立を可能とする職場づくりの一環として、事業所内一時預かりを行う。
- 内容: 養成講座を修了し、託児サポーターの認定を受けた学生と保育士等が、満1歳から小学6年生までのお子さんを無料で預かりする。時間は13:00~20:00の間。
- 申し込み: 予め登録し、利用の3日前(土日祝日を除く)までに予約する。



3. 研究継続支援員制度(対象:子育て・介護等に携わっている常勤の女性研究者)

- 目的: 育児・介護等により十分な研究時間を取ることができない女性研究者の教育・研究活動を支援する。(妊娠中又は小学6年生までの子育て中の方、要介護の認定を受けている親族を介護している方を対象とする。)
- 内容: 教育・研究上の補助業務を行う支援員を雇用する場合、その経費を男女共同参画推進室が負担する。
- 申請: 申請書を提出する。後期は9月に募集する。

4. メンター制度(対象:新任及び若手の女性研究者)

- 目的: 先輩研究者とのメンタリングを通じて人的ネットワークを広げ、新任者や若手研究者の能力の発揮を支援する。
- 内容: 学内メンターと利用者とは継続的に相談を行う。
- 申請: 申請を受けて男女共同参画推進室が希望する研究者または学内メンター登録者へ依頼し、承諾を得てメンタリングを実施する。

5. 巡回相談員制度(対象:全教職員・学生で希望する方)

- 目的: 仕事や学業と生活との両立に関する相談にのり、様々な支援情報を提供する。明らかになってきた課題を検討し対策を立てる。
- 内容: 仕事と生活の両立に関する状況について、個別にあるいはグループで1時間程度お話を伺う。希望者を対象とするが、新任の方と今まで一度もお話を伺っていない女性研究者の方々には、訪問の協力をお願いする。

6. ユビキタス・ワーキング・システム(対象:子育て・介護等に携わっている男女研究者)

- 内容: 自宅等からインターネットを通じて「学内のページ」の閲覧や購入依頼や旅費請求の入力ができる。

7. ノートパソコンの貸出(対象:子育て・介護等に携わっている女性研究者)

- 内容: 平成26年3月までの1年間、ノートパソコンの貸出を行う。現在、貸出申し込み受付中。

新任者と語るワークライフバランス 平成25年度第1回ランチミーティングを開催

5月31日(金)

今年度第1回のランチミーティングが基盤教育1号館会議室で開催されました。新採用の方7人、県外から異動された方2人、部署の異動があった方2人を含む19人が集まりました。2ヶ月を過ごした現在の心境やこれからやりたいこと、先輩からは山形での生活のポイントや若い方へのアドバイスなどが語られました。



19人参加

●雪国は初めて、山形の冬を快適に過ごしたい。

「山形は初めてで、雪国に住むのも初めて。近くにどんな店があるかようやく分かってきた。大学の組織がまだよく分からないが、事務の方が親切に教えてくれる」という新任者に「冬道は凍るので普通の靴では非常に危険。冬は山形で販売されている靴を求めるのが安心」という話が出されました。

●単身赴任の覚悟も必要。経験を広げるチャンスにする。

「現在、2度目の単身赴任。母が小さい頃亡くなったこともあり食事作りは苦ではないし、その土地のものを楽しまたいと思っている。若い方には職場や自分のためにも単身赴任の覚悟も必要だと伝えたい。経験やネットワークを広げるチャンスだと思う」というアドバイスもありました。

●人と話をする機会を意識的に作りたい。

「人と話すことの多かった前職と違って1日中パソコンに向かっている仕事なので、隣の人としか話さなかったという日がある。いろんな人と話せる場にできるだけ参加したいと思っている」という話が出されました。

研究者のための英語論文書き方セミナーを開催 (協力:英文校正エディテージ)

6月6日(木)

現在、多くの大学で活躍されているミリンダ・ハル氏を迎え、昨年度末に2会場、今年度も2会場でセミナーが開催されました。合わせて200人以上の参加があり、「子どもがいるとサバティカルなども含めチャンスが少なくなるので、このような企画はありがたい。」「これまでの論文の書き方に対する考え方・捉え方が変わった。」「何回でも時間をかけてじっくり受講したい。」などの感想がありました。



44人参加

ミリンダ・ハル氏からの ポイント・アドバイス

研究成果を広く世界に公表し学術の発展に貢献するためにも、英語論文の作成は重要です。せっかく学術誌に投稿しても、"Bad English"の評価では掲載されません。ポイントの一部を紹介します。

1. スタイルとフォーマット (Style & Formatting)

●論文の標準スタイルに合わせる

分野や学術誌によって論文の標準スタイルが異なり、例えば脚注の示し方も (findings.² findings².) のように異なっています。人文科学分野では MLA スタイル、自然科学分野では AMA スタイルなどがあります。それぞれマニュアルが出版・公開されているので見てください。投稿予定の学術誌が決まったら、参考論文を2、3手元に用意して参考にするのがポイントです。

●スペースを意識する

日本ではスペースについて学ぶことがほとんど無く、気がつかない人が多いようです。例えば、Fig. 1のようにピリオドのあとはスペースを入れますので気をつけてください。

2. 英語論文の構成 (Organization)

●Introduction は単なる導入ではない

論文の構成が執筆者にとって最も重要です。なぜなら、1のスタイルや3の文法と違って校正者が修正するわけにはいかないからです。ところが、英語論文と日本の論文とは構成が非常に異なります。Introduction は単なる導入ではなく、最も重要な結論を述べる部分ですが、日本の論文では、結論が最後に来ることが多いようです。Introduction から Conclusion まで直線的に進むのではなく、輪になって戻ってくると考えてください。Introduction (thesis statement) で述べる3要素が、問題、解決方法、成果です。Conclusion では、それを短いパラグラフで再度述べます。Conclusion に新しい言葉や情報を入れることはしません。

●重要なことを先に述べる

また、英語論文では、先に述べられたことほど重要だと受け取られますので、「位置が意味をもつ」"Position has meaning"ということを意識してください。質問にもあったのですが、よいデータ結果を後に示す傾向があるようですが、よい結果を先に示すべきです。英語論文では、先に示された方が重要だと受け取られるからです。

3. 英語論文執筆に必要な文法 (Grammar)

長い副詞句を前にもってくることは避けて、主語+動詞+目的語 (SVO) を先に示すと端的な表現になります。

(例) BEFORE In order to avoid being exhausted during distance running, we need to take in enough oxygen.

AFTER Long distance runners require a large volume of oxygen to avoid exhaustion during running.

大友 幸子 先生

山形大学地域教育文化学部教授



◎どんな研究をされていますか。

朝日山地、阿武隈帯を中心に花崗岩体の地質学的研究を行っています。花崗岩は、他の惑星にはなく地球にのみ産する岩石で、地球の進化の過程で形成してきた大陸地殻を特徴づける岩石です。また、みかげ石と呼ばれ、墓石やピルの壁、歩道の石材として私たちの身近なところに利用されている岩石でもあります。山大の正門の石も中国産のみかげ石です。地下深部で形成した花崗岩が現在は隆起して山地を構成しています。そんな花崗岩の分布や断層地下深部で変形した花崗岩の構造を調べています。

◎興味を持たれたきっかけは何ですか。
子どもの頃からきれいな石を見つけると拾ってきいたりしていましたが、鉱物や化石採集にでかけるのが魅力で高校では地学部に入りました。地学部の活動を通じて地学系への進学希望が強くなりました。地学部顧問の先生の影響が大きいです。地質学関係に地学部のOG(女子校だったので)が何人もいて心強かったです。大学入学後は、鉱物や化石採集よりも大陸地域の造山帯やそこに分布する花崗岩の活動に関心が移っていきました。

◎どんな大学生活でしたか。

入学当時、信州大学理学部地質学科の女性は学年で私1人でした(4学年合わせても3人)。当時の理系はどの学部も女性は少なかったため違和感もなかったです。おかげで教養部の植物分類学ゼミで、登山をしたり徹夜で熱く議論できる生物学科や繊維学部の女友達ことができました。4年になって卒業研究のテーマを考える際に先生方から、(女子学生には)室内実験の方を勧め、と言われましたが、指導教官の勧めには従わずに、花崗岩体のフィールド調査を中心にした卒業研究を行いました。その後、地質学科に女子学生が増える時代になると、そのような懸念はなくなっていったようです。

◎研究を志したきっかけは何ですか。

大学4年間でできた将来の希望は、修士課程修了後に高校教員になって研究もしたいというものでしたが、院試に落ちて浪人しようと思っていた卒業間近の2月に、勧められて一橋大学の助手の面接を受け、採用の連絡を頂きました。面接の時に、授業準備や資料整理などの補助的な仕事だという説明を受けたので、辞退しようかと真剣に悩みましたが、親や周りの勧めに抗しきれずに就職しました。しかし、10年後や20年後の自分の状況を考えるとどうしようもなく不安になり、周りの反対を押し切って1年で助手をやめ、大学に戻って研究生になりました。この時の1年の苦しい経験から、自分で決めた選択でなければ後悔することになるという教訓がこれ以降の人生の糧になっています。その後、修士課程修了後、広島大学大学院博士課程後期に進学し、先生方をはじめ先輩院生方から調査法や観察眼を吸収するなかで、フィールド調査に熱中していた時期を過ごしました。オーバードクター時代も長かったのですが、就職した悩み多き1年の事を思うと、貧乏も気にならず充実していた時期です。しかし30代半ばになって、研究職での就職は見通し

がなくなり、父も再就職先の定年を迎えることから、会社への就職を真剣に考えはじめた頃に幸い山形大学への赴任が決まりました。

「女性により就職なんてないのだから、大学を卒業したら結婚しなさい」という親の考えを押しつけられて、反発を感じて子ども時代を過ごしました。その呪縛から「自分に自信を持ってない」という内なる自分を何とかしたくて、背伸びしながらいろいろなことをやってきましたが、実際それができたのは、金銭的にも精神的にも両親のサポートのおかげでした。ですから研究を志したと言うより、苦い教訓と成り行きで今の自分があると思っています。

◎困難はありましたか。

40代末頃に不眠症になり、更年期障害だと思うのですが、体調不良でした。一人で仙台に暮らしていた母のところに帰省する回数がどんどん減っていきました。その後4年前に母ががん入院し、病院近くに住む叔母に母の闘病生活を支えて頂きました。3年前に母は亡くなりましたが、自分の体調不良の時期に闘病中の母に十分寄り添ってあげられなかったことがとても心残りです。地域教育文化学部には比較的女性教員が多く、親の介護や看取りについての話しができることで癒されています。

◎若き研究者へのメッセージ

私が学生の時は理系の女性研究者が非常に少なく、あまりにハードルが高すぎる存在という印象でした。その後、理系分野に進学する女性が増えるにつれてロールモデルとなる女性も増えてきました。女性が増えることで環境も改善されます。今はまだ充分とは言えませんが、志をもって進むことができる時代になってきていると思います。

Information 男女共同参画フェスタ開催中

6月20日(木)~
7月19日(金)

- パネル展:「山形ワークライフバランス・イノベーション」「男女共同参画社会基本法」…会場:インフォメーションセンター(7/2まで)
- 図書紹介:国立女性教育会館所蔵図書200冊紹介…会場:小白川図書館1階閲覧室入り口
- 男女共同参画セミナー:「知っていてほしい性と生~産婦人科医師からのメッセージ~」◎日時:6月27日(木) 16:30~18:00
- ◎会場:基盤教育2号館211教室 ◎講師:井上聡子氏(さとこ女性クリニック院長) ◎内容:性の健康、性の多様性、リプロダクティブ・ヘルツ/ライツ



Information 学長・学部長と女性研究者との懇談会

- 農学部 ◎日時:7月19日(金) 15:15~16:15 ◎場所:農学部会議室
- 地域教育文化学部 ◎日時:8月5日(月) 11:30~13:00
◎場所:地域教育文化学部小会議室(仮)

Information 女性研究者裾野拡大セミナー

- 農学部 ◎日時:8月5日(月) 10:30~16:00
◎場所:農学部研究施設・会議室
◎内容:大学見学、研究室訪問、実験体験(女子高校生対象)
研究者の講話(女子高校生、大学生、教員、ポスドク等対象)
- 工学部 ◎日時:10月13日(日)(吾妻祭開催中)
◎場所:工学部100周年記念会館
◎内容:OB講演会及び交流会、女性研究者の研究室見学会
◎対象:高校生、大学生、大学院生等

Information 平成25年度男女共同参画シンポジウム

「これからの社会をつくる女性リーダーの育成」

- ◎日時:11月15日(金) 14:40~17:10
- ◎場所:小白川キャンパス理学部S401教室(4階)
- ◎基調講演:村松泰子氏(東京学芸大学長) ◎対象:どなたでも参加自由

編集後記/今年度は、表紙にありますように達成すべき目標のある年です。女性教員比率の数値目標と次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画です。後者では、育児休業の取得と年次有給休暇の取得が課題です。仕事を一人で抱え込んでいないか割り振りを見直し、休暇等取得しやすい環境をつくるチャンスとしたいものです。(2013年7月)



山形大学男女共同参画推進室

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12
TEL 023-628-4937、4938、4939
E-mail danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/